

## Dr. ASAKOのOne Point Lecture

哺乳類である私たちは、少し昔までは、おっぱいで育てることはふつうのことでした。もしおっぱいが出ないお母さんがいたら、たぶん良くおっぱいの出る乳母さんに助けってもらって、子育てをしてきました。女性達は育児情報も交換しつつコミュニケーションの中で母乳育児を普通に楽しんできたのだと思います。赤ちゃんとお母さんはまさに乳繰り合い、コミュニケーションの平和の象徴であり、外に狩り出かけ家族を守るお父さんや長兄達のモチベーションであり、小さい子供達の憧れの像だったでしょう。ピストロバぶちゃんや、乳児健診、おっぱいの会に赤ちゃんと語り合っておっぱいを飲ませているお母さんを見ると心から思います。おっぱいをあげることはとても普通のことです。どうぞ、企業や政府の思惑に惑わされてはいけません。赤ちゃんを見て、おっぱいを飲ますだけです。何も心配はいりません。私たち支えるチームはお母さん達の心のケアをし、おしゃべりの場を作り、見守ります。いつもお母さんと赤ちゃんからは学び癒されることいっぱいです。「支え、支えられて母乳育児」をテーマにごきそレディースクリニックの活動を今回はまとめてみました。そして、我々、医療者を支えてくれるのは、赤ちゃんとお母さんそして家族です。ありがとうございます。おがわあさこ

当院では退院後のBFH (Baby Friendly Hospital= ママと赤ちゃんにやさしい病院) の活動としてママと赤ちゃんを支える為に色々なお教室を開催しています。

### 保母と遊ぼうの会



手あそびやペープサート、絵本などの読み聞かせをしたり牛乳パックで作ったおもちゃで遊んでいます。ママの膝の上でくすぐり遊びをしてスキンシップをしています。バスタオルを使ってブランコをしたり、ボールプールなど大胆な遊びを取り入れ3ヶ月位から1才半位までの赤ちゃんとママが楽しく遊んでいます。遊びを通して「こんなことが出来るようになったんだ！」と我が子の成長を実感したり、また「離乳食がなかなかすすまない」とか「夜中なかなか寝てくれない」など悩みを出し合っママ同士励まし合っています。

### 茶話会



1歳の誕生日を共に祝い会を通して育友作りの場となるようにしています。

### インファントマッサージ



ママのマッサージで赤ちゃんが「気持ちいいよ」のサインで、答えてくれる触れ合うことの楽しい時間を持ちましょう。ママ同志の語り合いの場でもあります。

### はげましあっておっぱいの会



生後6ヶ月で卒業の土曜会と卒乳まで参加できる木曜会があります。赤ちゃんの体重測定、母乳測定や飲ませ方の指導をしています。子育て大先輩の外來主任さんをはじめ少し先輩のばぶママが母乳育児で頑張っているママ達のサポートをしています。毎日ばぶショップではばぶママがいます。気軽にお寄りください。

### ベビーサイン



手話やジェスチャーなどを使った赤ちゃんとのコミュニケーション方法です。まだおしゃべりの出来ない赤ちゃんもママに伝えたい事はいっぱい。伝える手段がないので泣いたり、声を出したり、癇癪をおこしたり。分かってあげられないママの方も辛いですね。そんな悩みを軽減し、育児生活をぐんと楽しくするのがベビーサインです。赤ちゃんの目にどんな世界が映っているのか知ることが出来るのも感動的です。サインを教えながら、自然と語りかけ、触れ合いの時間が増え親子の絆が深まっていくそれがベビーサインの魅力です。



ごきそレディスクリニックのあゆみと母乳率の推移

★プレママへのサービス

●入院中のママへのサービス

▲退院後のママ達へサービス

◆BFHとしての啓蒙活動 ■スタッフ教育



赤ちゃんに優しい病院の認定を受けて

- ・一番楽しかったのはママ達が誇りに思ってくれるという手紙をたくさんくれたこと。
- ・一番や母乳育児がやりやすくなったのはおぼあちゃん達に教えてもらったこと。
- ・一番楽になった事は訪問看護で手回りの足りない赤ちゃんには「クリニックに 相談して」と保健師さんがきてくれること。以前は愛情とミルク缶が与えられた。
- ・一番嬉しかったことは母子健康とスタッフが喜んでくれたこと。
- ・一番悩んでいることは「BFH」に認定されて「1」の活動を頑張ろうとすると個人病院の認定だといわれたこと。
- ・一番やりたい事は彼が楽しく母乳育児を受入れること。ごきそレディスクリニック おかげあさひ

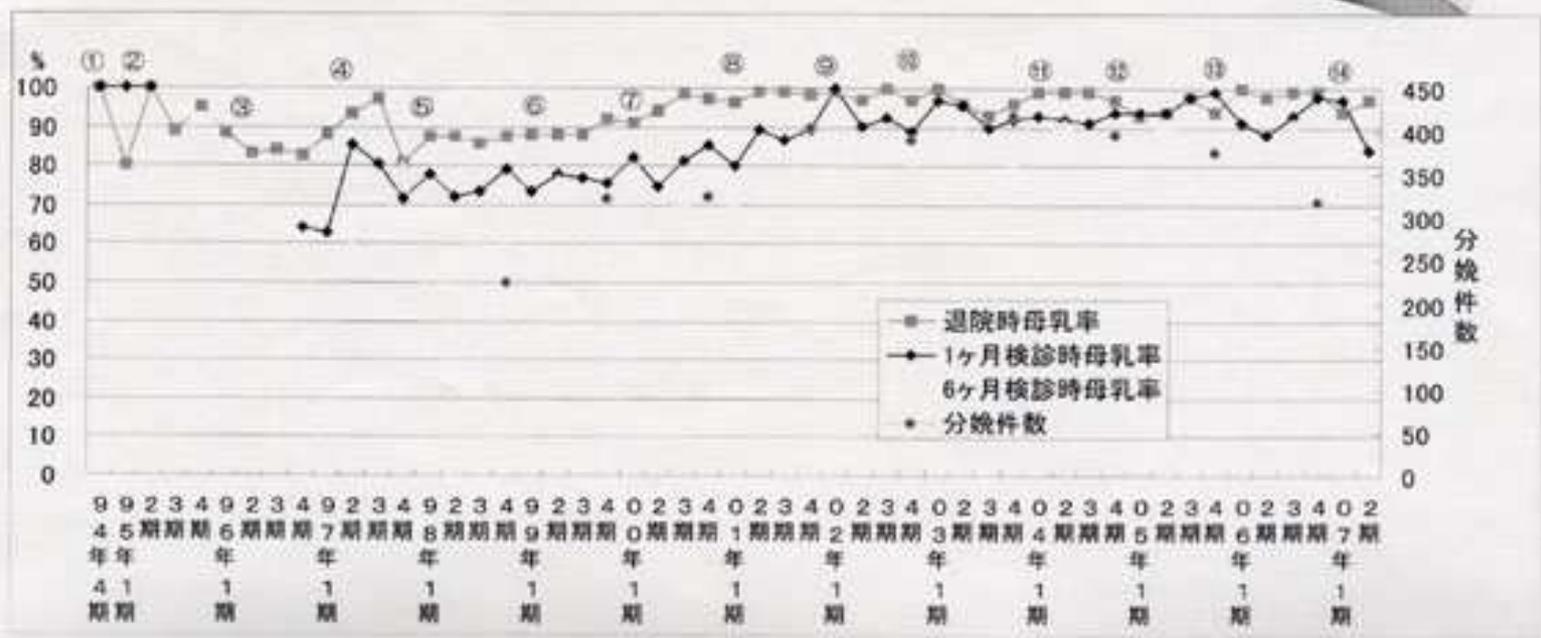
◇◇◇ミニミニコメント◇◇◇

- 2004年1月～12月  
6ヶ月健診受診率・・・60.7%
- 2005年1月～12月  
6ヶ月健診受診率・・・64.4%
- 2006年1月～12月  
6ヶ月健診受診率・・・67.1%

いろいろなやんで、たくさんチャレンジしているんだね。ほんとうはほくしきり見てほしいとき、教えてくれたらそれでいいのに。



①	1994	1	■	スタッフ10名にて開業
②	1995	2	▲	第1回クリスマス会を当院内で開催。毎年恒例行事になる。現在は公共施設で開催
		3	●	帝王切開 完全母乳に成功
		4	■	胎産婦入籍
③	1996	5	●	お茶会開始
		6	▲	保育と遊ぶ会開始
		7	▲	ママ達の希望で「ばぶちゃんクラブ」開設
		8	■	「マザーリングマザー」の実践のための管理栄養士看護婦などコメディカルに育児経験者を募る
④	1997	9	★	産前指導の大切さを深く考え「皮の日」に「プレママ指導」を加えおっぱいの大切さと乳管開通、いいお産、いいおっぱいのための栄養指導開始
		10	◆	名古屋市産科看護学校の産科看護の講師を引き受ける
⑤	1998	11	▲	茶話会(1才の誕生会)開始
		12	●	産前ケア開始
⑥	1999	13	▲	「はげましあっておっぱいの会」開始
		14	▲	1000人目の元気な産声を聞く
		15	▲	5周年記念運動会開催
		16	◆	ミルク業者完全撤廃
⑦	2000	17	▲	母乳の会、橋本先生が「はげましあっておっぱいの会」を発祥されママ達を応援された。
		18	◆	日本母乳の会に「ママと赤ちゃんが楽しくおっぱいを続けられるために」を委員
		19	★	ばぶホール新設(ママと赤ちゃんのためのクラス)
		20	◆	ホームページを立ち上げる
		21	◆	ダイオキシン問題もあり布おむつへ
		22	◆	H12年4月から12月まで中日新聞に「ようこそ産婦人科へ」を連載
		23	▲	インファントマッサージ開始
⑧	2001	24	◆	ばぶママスタッフによる指導開始
		25	■	院内LAN設置(サーバー)による母乳率等の管理開始
		26	◆	日本母乳の会の方々視察
		27	◆	BFHの認定を受ける
⑨	2002	28	◆	愛知母乳の会委員
		29	◆	2000人目の元気な産声を聞く
		30	■	IBCLCの勉強会へ参加(北海道、スタッフ研修)
		31	◆	HIS研究会に加入(スタッフの意識改革)
		32	▲	おっぱいメール相談開始
		33	◆	医学部看護学科実習生の受け入れ
⑩	2003	34	●	「ピストロばぶちゃん」(産科専用レストラン)を新設
		35	◆	豊田市健康フェスティバルおっぱい祭り
		36	◆	愛知母乳衛生学会にて発表
⑪	2004	37	■	ISO取得準備開始
		38	★	外来看護婦によるハンドマッサージ開始
		39	★	産科看護婦によるアロマオイルマッサージ開始
		40	◆	西尾市子育てフェスタ参加
⑫	2005	41	●	エモーショナルサポートの一環としてルームアテンダント開始
		42	◆	3000人目の元気な産声を聞く
⑬	2006	43	◆	寺中ママが愛知母乳の会運営委員になる
		44	■	ナースキャップ廃止 スタッフの制服変わる。
		44	■	紙カルテから電子カルテに移行
⑭	2007	45	◆	5月19日、20日HIS研究会主催を務める
		46	★	ばぶママによるアロマハンドマッサージ開始



8月1日が「世界母乳の日」ということをご存知ですか？

1992年に8月1日を「世界母乳の日」、8月第1週を「世界母乳週」と定められました。その週間にあわせて「母乳の会」では母乳育児支援について色々なテーマでシンポジウムが行われています。「日本母乳の会」は「一人でも多くの母子を母乳で育てられる幸せ」をモットーに多くの母子を支援し、またその母子を助ける医療従事者のために活動しています。ユニセフより委託され日本におけるBFHの認定審査も行っています。今年は富山市で「地域を支える母乳育児」をテーマに7月28日、29日に開催されました。ので、今回は当院における「支え支えられて母乳育児」ということについて考えてみました。

【支えられる側ママ達の声】

退院後もクリニックからのおっぱい電話相談やおっぱいの会など受け入れがしっかりしていること。おっぱいの会があるおかげで毎週気軽に参加して、スタッフの方やママ達と日頃の育児の悩みを話しながらストレスが解消出来ます。

24時間育児用室のため、入院中はとてもハードに感じた授乳も産後すぐに夜中の授乳経験が出来、早く日常生活に慣れる事が出来てとても良かったと思った。

入院中に助産師の方だけでなく、お部屋の掃除をしてくれたスタッフやベッドシーツをかえてくれたスタッフの方からも励ましの言葉やアドバイスももらってすごく癒されました。

退院後も「おっぱいの会」に参加することで自信をもっておっぱいだけで育てられる。また、「おっぱいの会」は退院後の不安な事を相談出来、家で育児だけに専念するストレスなどを発散する場となっていてとても助けられます。

初めはおっぱいを飲まなかったがおっぱいに関して勉強させてもらったので不安にならずに乗り切れました。

ミルク育児世代の自分の親達に母乳育児が理解されない部分があり、時々衝突してしまいます。

初めての出産で不安な事ばかりでしたが丁寧に授乳指導をもらえて母乳が出るようになり自信がもてました。また、おっぱい電話訪問は、励みになりました。

もっと広く世間に母乳育児について理解されると良いと思います。

【支える側スタッフの声】

副 長

おっぱいが出ないママ、上手く飲めない赤ちゃんへの授乳指導をしています。赤ちゃんは乳頭でおっぱいを吸うのではなく乳輪全体を吸っていて赤ちゃんの舌が下にあるか確かめておっぱいを含ませます。無理やり口の中に乳輪を入れるのではなくママも一緒に「アーン」としながらゆったりとした気分でおっぱいを飲ませましょう。生まれてすぐはおっぱいの分泌が少なくても大丈夫。赤ちゃんは※3日分のお弁当と水筒を持っているのでママは焦らず、頻回におっぱいを含ませること、十分な水分補給をとることです。おっぱいは必ず出ます。おっぱいが出てくるとき赤ちゃんがしっかり飲んでくれることを楽しみに待ちましょう。

※「母乳育児Q&A」より抜粋

病 棟

授乳の方法は乳輪のタイプに合わせて指さし方、含ませ方を指導しています。母乳が出るまでの間は特に精神的サポートをしています。

外 来

「おっぱい訪問電話」「おっぱいメール相談」「はげまし合っておっぱいの会」などで母乳のトラブル、育児、生活などの相談を受けている。

授乳の仕方チェック、アドバイス。おっぱいトラブルの対応は冷湿布、薬の説明、飲ませ方の指導。

事 務 長

クリニックの裏方としてお母さんと赤ちゃんが安心、安全、快適にクリニックで過ごして頂けるように、施設、設備の管理をしています。ママ達からの声（退院時のアンケート）がよいヒントになっています。スタッフ全員でママ達を支えられるように、情報を共有出来るようにしています。

受 付 事 務

赤ちゃんを抱っこしている方のサポート例えばドアを開ける。直接席まで行って母子手帳、保険証などを渡している。

管 理 采 買 士

1ヶ月健診時に今後のおっぱい育児の負担が少しでも楽になるよう食事（その他の面でも）についてお話しをしています。

厨 師 シェフ

見て美味しく、食べて美味しい献立を工夫しています。又アレルギーがあったり、宗教上食べることが出来ない方には特に食材には気をつけています。

病 棟 助 手

清掃で訪室した時、「おっぱい上手に飲んでいきますね」「気持ちよく眠っていますね」と喜んでもらえる言葉かけをして励ましています。

ア テ ン ダ ント

母乳で育てたい、母乳で頑張るといって一生懸命なんだけれど思うように母乳が出なかったり泣く赤ちゃんに戸惑ったり眠れなかったりのママ達の話を聞いて差し上げます。話すことで楽になったりクリニックへの要望も聞けたりします。週2回のおっぱいの良いたんぽぽ訓練のルームサービスもおっぱいで頑張るママへの励ましのサービスです。ほっとする一杯がおっぱいへの活力になることを願って淹れます。産後の骨盤ケアのためのトコちゃんベルトの指導もママの体へのいたわりのサービスです。楽しみながら、かみしめながら母乳育児をして欲しいといつも願っています。

ば ぶ マ マ

母乳育児をしていく上で家族の協力は不可欠。立場的に反論出来ずじけそうになるママ達がいま。なかなか赤ちゃんの体重が増えなかったり、授乳で夜眠れないママもいます。母乳測定に来るママ達は色々な話をしてくれます。ばぶママはちょびり先輩のママとしてそんなママ達のピアカウンセラーとして話を聞いて差し上げます。自信を持っておっぱいで育てられるように応援します。又、ママ友作りのためにも「おっぱいの会」への参加を呼びかけています。

【編集後記】

通信のコメントにご協力頂きありがとうございました。今後とも皆様のご意見ご要望を大切に、よりよい情報を「ばぶちゃん通信」を通してお伝えしていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

編集者 富山美智枝